

## 4年間を見通した「履修のカルテ」の活用について

### I 「履修のカルテ」の内容サンプル

1. 教職に関する科目の履修状況について前年度までの取得科目を○で記入すること

例)

左記に対応する開設授業科目					前年度の取得済み科目に○を付ける			
授業科目	配当 学年	本学 にお ける 単位 数	中学一 種免許 必修	高校一 種免許 必修	1年次	2年次	3年次	4年次
道徳理論と指導法	3	2	○					○

### 2. <自己評価シート>

前年度の学びを振り返り1～5にいずれかの点数を付ける（他の数字を削除し前年度の年次の欄に記入すること）

例)

教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成 することができますか。	4
-------	--	---

### 3. [教職課程課題レポート：○年次終了時]

テーマ「教職課程の1年間を振り返り、①教職課程で学んできた感想②学び得たこと③これから教職課程で学ぶ上での自分自身の課題について、述べること。①～③を含めて、1000字以上書くこと。」

## 例)

(前略) この教職課程で、自分の経験も含めた上で子供たちがどのようにして成長していったどのような心理状況に置かれているのかということを知ることができた。さらにそれらを踏まえて実際に自分が教員になった場合に、どのようにして子供たちと接していくかなど関わり方について考えていけるようになっていったと感じる。

また、それだけでなく学習指導要領に基づいた授業内容を自分なりに考えていくということも初めてで拙い部分はあったと思うが、他人からもらった意見や、自分が他人の授業内容を聞くことで気づいたことなど、こういった面でも私が学べたと感じる部分は多くあった。

また、教えてもらう側だけでは知ることがなかったであろう学習指導要領などというものや、授業計画などそもそもそういったものがあるということを知れたという部分があると思う。これらから、教員がいかにかえて授業を作り上げてくれていたのかということがよく分かったように思える。

これから教職課程で学んでいく上での自分自身の課題は、教えてもらう側である子供たちの気持ちに寄り添えた授業を作りきれないのではないかということだ。(後略)

## Ⅱ 「履修のカルテ」の運用

「履修のカルテ」のシートには上記1～3の項目を同時に載せかつ、1年次から4年次まで過去の自身の記載したことの振り返りができるように同一のシートに記載できるように工夫がされている。

そして、以下の「履修のカルテ」の活用サイクルをもって、教職課程学生は、4年間、各学年の教職課程の授業が終わった後、省察(振り返り)がポートフォリオの形式をとり行なわれている。

## Ⅲ 「履修のカルテ」の活用サイクル

省察(振り返り)を記載した「履修のカルテ」の上記シートを各学生から教職課程教員へ提出

↓

教職課程教員からコメントを付して各学生へ返却

↓

各学生は自身の課題を認識して、教職課程科目の授業や郊外実習などで課題解決に向けての取り組みの実施

↓

年度途中での教職課程教員との面談、相談

↓

年度終了後の省察(振り返り)